

令和7年度地域医療構想モデル推進区域に係る  
病院事務長等会議について（報告）

1 会議目的

令和6年度に策定した「区域対応方針」について、実現に向けた対応等を検討

2 構成メンバー

丹後6病院事務長、京丹後市担当課長、京都府立医科大学事務局長  
京都府丹後保健所次長ほか、京都府健康福祉部医療課参事ほか

3 開催状況及び内容

●第1回：令和7年5月9日（金）

内容：会議目的

区域対応方針の進め方

各病院からの状況報告

●第2回：令和7年7月8日（火）

内容：自院の役割と今後について（共有）

医療機関別職員別の年齢構成について

●令和7年8月25日（月）～9月4日（木）

令和6年度決算状況等に基づき、各病院等個別ヒアリング

●第3回：令和7年12月23日（火）

内容：各医療機関の状況等及び国における新たな地域医療構想の検討  
状況について

各医療機関の今後の方向性等に係る検討案について

4 今後の予定

◎「令和7年度診療実績」「新たな地域医療構想ガイドライン」などを踏まえ、別添内容（急性期機能をどうするか 等）について各医療機関にヒアリング。

◎ヒアリング結果を踏まえ、丹後医療圏の医療提供体制について調整会議等で議論。

# 丹後医療圏の医療提供体制に係る今後の方向性に向けた

## 【検討事項】

### 【共通認識】

◎急激な人口減少の状況を踏まえると、機能集約や連携は必要

※丹後地域の人口予測

- |                |                        |
|----------------|------------------------|
| (1) 総人口        | 令和7年：8.7万人⇒令和22年：6.1万  |
| (2) 15歳以上64歳未満 | 令和7年：4.4万人⇒令和22年：2.6万人 |
| (3) 65歳以上      | 令和7年：3.4万人⇒令和22年：3万人   |
| (4) 75歳以上      | 令和7年：2.1万人⇒令和22年：1.9万人 |

第3回事務長会議で提案した検討事項

### 【検討事項①】

#### 急性期機能について

○現状及び令和8年度診療報酬改定により新設された急性期病院AもしくはBへの移行可能性について

	入院基本料	救急搬送件数	全身麻酔件数	急性期病院Aもしくは急性期病院Bの移行可能性
北部医療センター	急性期一般入院料1	2,285	1,085 (うち歯科1)	急性期病院B
丹後中央病院	急性期一般入院料4	878	702	急性期病院B
弥栄病院	急性期一般入院料4	851	26	×(全麻件数不足)
久美浜病院	急性期一般入院料4 療養病棟入院料2	545	503 (うち歯科405)	×(全麻件数不足)

※救急搬送件数及び全身麻酔件数は令和5年度実績

## 【検討事項②】

### 救急機能について

別添の消防本部データ資料を参照

## 【検討事項③】

### 分娩取扱病院について

## 【検討事項④】

### 急性期以外の役割について

## 【検討事項⑤】

### 外来の患者数に応じた連携・分担の可能性について

## 【検討事項⑥】

### 病院間で連携して取組みを進めることはできないか

- 例) 救急・手術については、輪番制を実施しつつ段階的に集約  
医療機能の分担と連携強化を図るための共通クリティカルパスの導入  
スケールメリットによる経費削減を図るための委託業務の共同化  
人材不足への対応のための職員の在籍出向  
連携・共同して実施することによる効率的な業務の実施（職員の共同研修等）

# 救急搬送受入数および傷病程度別割合

- 北部医療センター、丹後中央病院、弥栄病院、久美浜病院の4病院が、地域全体の大多数の救急搬送に対応している。
- 地域全体および北部医療センターや久美浜病院への救急搬送では軽症患者の割合が高い。

